

3. 製造業

生産・売上の状況

－業況DI、生産額DIともに好転－

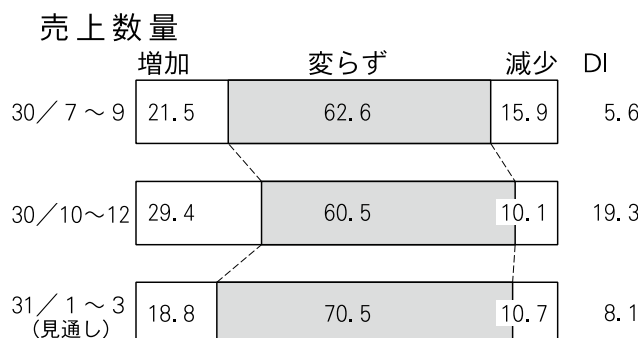
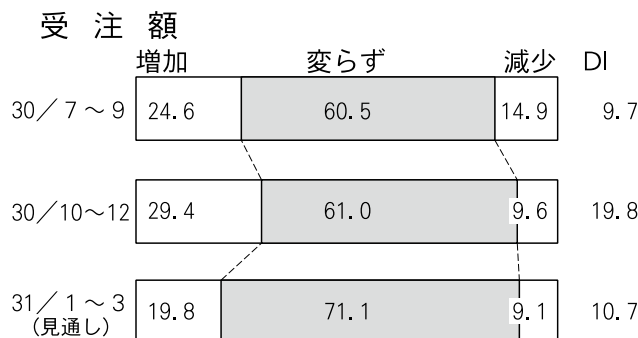
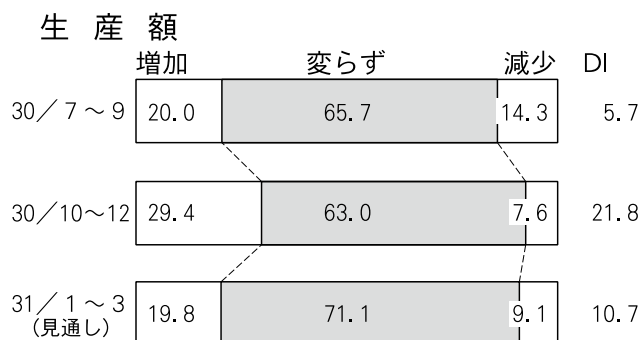
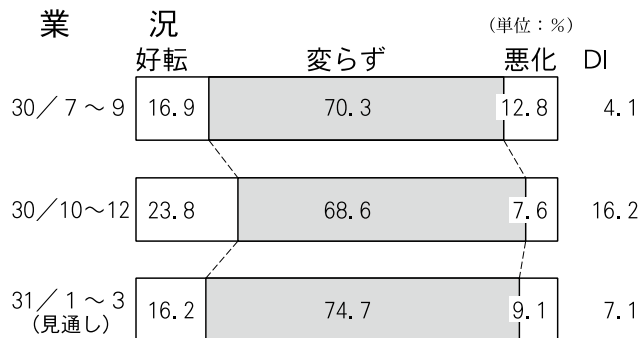
製造業の業況DIは+16.2と前期と比べ12.1ポイントの好転、生産額DIは+21.8と前期と比べ16.1ポイント好転し、業況判断DI・生産額DIとも10期連続でプラス台を維持している。

生産額DIを業種別にみると、15業種中生産額DIがプラス台にあるのが食料品製造、繊維工業、木材・木製品、家具装備品、パルプ・紙加工、窯業・土石、金属製品、金属プレス・メッキ、一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具、プラスチック製造の12業種、±0が出版・印刷の1業種、マイナス台が衣類その他繊維製品、建物用金属製品の2業種となっている。

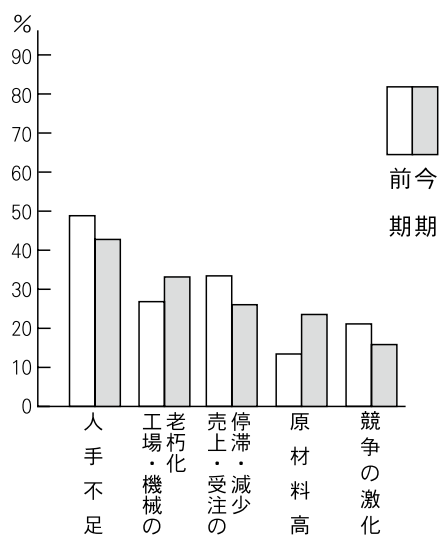
資金繰りDIは△0.5と前期と比べ3.7ポイント改善している。

経営上の問題点は「人手不足」43.1%、「工場・機械の老朽化」33.5%、「売上・受注の停滞・減少」26.4%、「原材料高」23.9%、「競争の激化」16.2%の順となっている。今期は「工場・機械の老朽化」と「原材料高」が前期と比べ大きく増加している。

来期の業況DIは+7.1と今期と比べ9.1ポイントの後退、生産額DIも+10.7と今期と比べ11.1ポイント後退するも、プラス台を維持すると予測している。



経営上の問題点



収益の状況

ープラス台に改善ー

今期の収益D Iは+6.6と前期の△6.6と比べ13.2ポイント改善しプラス台となった。

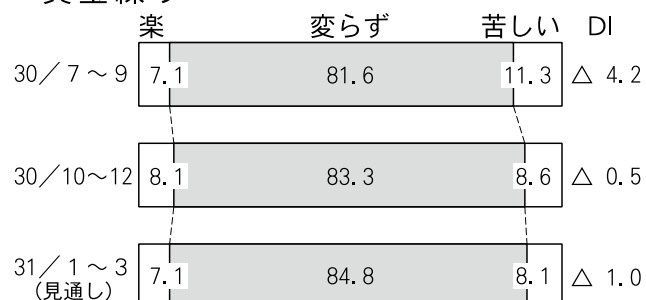
来期の収益D Iは+0.1と今期と比べ6.5ポイント後退するもプラス台を維持すると予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

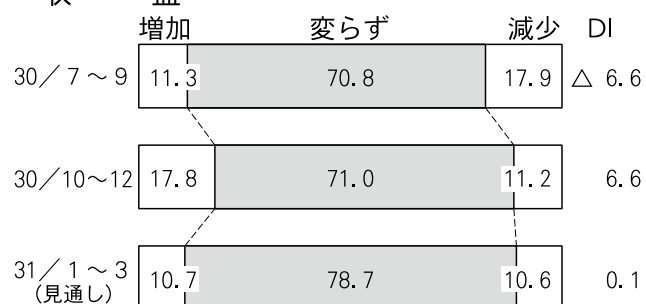
- ・ 廃業等により同業者が減少している。
(食料品製造)
- ・ 中国で電気自動車への動きが加速しており、今後も電動化関連部品の受注増が見込まれる。
(自動車部品製造)

資金繰り

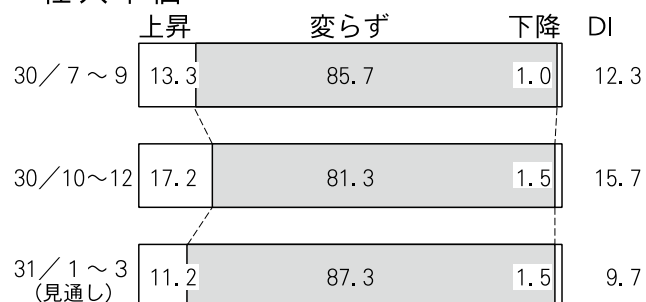
(単位：%)



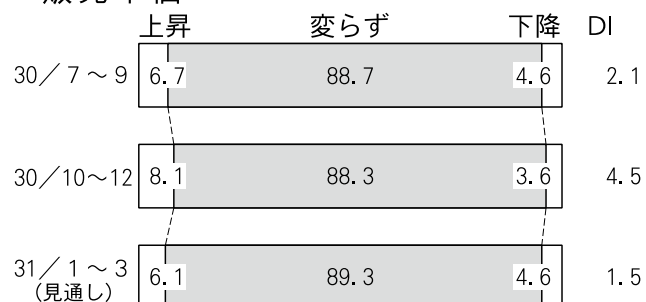
収益



仕入単価



販売単価



設備投資の動向

－実施率、2期連続で増加－

今期の設備投資実施率は10.7%と前期の8.2%と比べ2.5ポイント増加した。

設備の内訳は、機械の新・増設が61.9%、事業用建物が33.3%、機械の更新が19.0%、事業用土地が4.8%となっている。

設備の主な目的は合理化・省力化投資が71.4%、拡販投資が33.3%、開発投資が4.8%となっている。

来期の実施予定は10.2%と今期と同水準を予測している。

設備投資動向

〔今期の実績〕

30 / 10～12月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 10.7%	事業用土地	4.8
	事業用建物	33.3
	機械の新・増設	61.9
	機械の更新	19.0
○実施しない 89.3%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

31 / 1～3月期予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 10.2%	事業用土地	10.0
	事業用建物	10.0
	機械の新・増設	65.0
	機械の更新	20.0
○計画なし 89.8%		

(注) 比率は複数回答です。

〈参考〉

製造業の生産・収益状況

〔来期の見通し〕

(31年1～3月期の見通し)

	生 産									
	D I	-46以下	-31～-45	-16～-30	-1～-15	± 0	+1～+15	+16～+30	+31～+45	+46以上
収 益	+46以上									一般機械器具
	+31 } +45								家具装備品	
	+16 } +30								木材木製品 パルプ・紙加工品	輸送用機械器具
	+1 } +15							繊維工業 金属製品 金属プレス・メッキ		
	± 0						プラスチック製造	窯業・土石		
	-1 } -15									
	-16 } -30					食品製造業 衣服その他 繊維製品 建物用金属製品	電気機械器具	出版・印刷		
	-31 } -45									
-46以下										

※ D I ……増加企業割合－減少企業割合の回答割合を表わす。

製造業の内訳

(1) 食料品製造業

生産額の数値（増加企業数－減少企業数）は、今期+3（前期△1）と改善、収益も△2（前期△6）と改善している。

原材料仕入価格は+4（前期+2）と上昇、販売単価は+1（前期+3）と下降している。

来期の見通しは、生産額は△1と悪化、収益も△4と悪化を予測している。

経営上の問題点では、「原材料高」が前期と比べ大きく増加し、一番大きな問題となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第3位	第4位
項目 (回答 18社中)	原材料高	売上・受注の停滞・減少	人手不足	工場・機械の老朽化
件数	9	8	6	5

(2) 衣服・その他繊維製品

生産額は今期△1（前期△2）と改善、収益も今期△2（前期△5）と改善している。

原材料仕入価格は+2（前期+1）と上昇、販売単価も+1（前期±0）と上昇している。

来期の見通しは、生産額は△1と横ばい、収益は△3と悪化を予測している。

経営上の問題点では、「工場・機械の老朽化」が前期と比べ大きく増加し、一番大きな問題となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第3位	第3位
項目 (回答 14社中)	工場・機械の老朽化	売上・受注の停滞・減少	人手不足	生産能力の不足
件数	7	6	3	3

生産額 (単位：件)

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	6	4	5	3
変らず	9	10	8	11
減少	3	5	5	4
増加-減少	3	△1	0	△1

収益

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	3	2	3	1
変らず	10	9	9	12
減少	5	8	6	5
増加-減少	△2	△6	△3	△4

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	5	3	-	3
変らず	12	15	-	14
下降	1	1	-	1
上昇-下降	4	2	-	2

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	2	3	-	1
変らず	15	16	-	14
下降	1	0	-	3
上昇-下降	1	3	-	△2

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。

生産額 (単位：件)

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	2	1	2	2
変らず	9	10	9	9
減少	3	3	3	3
増加-減少	△1	△2	△1	△1

収益

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	1	0	1	0
変らず	10	9	10	11
減少	3	5	3	3
増加-減少	△2	△5	△2	△3

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	3	1	-	3
変らず	10	13	-	10
下降	1	0	-	1
上昇-下降	2	1	-	2

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	2	0	-	1
変らず	11	14	-	12
下降	1	0	-	1
上昇-下降	1	0	-	0

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。

(3) 窯業・土石製品

生産額は今期+2（前期△2）と改善、収益も△1（前期△4）と改善している。

原材料仕入価格は+3（前期+2）と上昇、販売単価も+2（前期+1）と上昇している。

来期の見通しは、生産額は+4と好転、収益も±0と改善を予測している。

経営上の問題点では、前期と同様に「工場・機械の老朽化」が一番大きな問題となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第3位	第4位
項目 (回答 16社中)	工場・機械の老朽化	売上・受注の停滞・減少	人手不足	原材料高
件数	12	9	6	4

(4) プラスチック製品製造

生産額は今期+2（前期+1）と好転、収益も+2（前期±0）と改善している。

原材料仕入価格は+2（前期+1）と上昇、販売単価は±0（前期+1）と下降している。

来期の見通しは、生産額は+1と後退、収益も±0と悪化を予測している。

経営上の問題点では、「人手不足」が前期と同様に一番大きな問題となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第2位	第2位
項目 (回答 12社中)	人手不足	原材料高	工場・機械の老朽化	人件費以外の経費の増加
件数	6	3	3	3

生産額 (単位: 件)

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	3	2	2	5
変らず	12	12	11	10
減少	1	4	3	1
増加-減少	2	△2	△1	4

収益

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	2	0	1	2
変らず	11	14	11	12
減少	3	4	4	2
増加-減少	△1	△4	△3	0

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	3	2	-	2
変らず	13	16	-	14
下降	0	0	-	0
上昇-下降	3	2	-	2

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	2	2	-	3
変らず	14	15	-	13
下降	0	1	-	0
上昇-下降	2	1	-	3

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。

生産額 (単位: 件)

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	3	2	2	2
変らず	8	11	9	9
減少	1	1	1	1
増加-減少	2	1	1	1

収益

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	2	1	3	0
変らず	10	12	7	12
減少	0	1	2	0
増加-減少	2	0	1	0

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	2	1	-	1
変らず	10	13	-	11
下降	0	0	-	0
上昇-下降	2	1	-	1

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	1	2	-	0
変らず	10	11	-	11
下降	1	1	-	1
上昇-下降	0	1	-	△1

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。

(5) 一般機械器具

生産額は今期+3（前期±0）と改善、収益も+2（前期±0）と改善している。

原材料仕入価格は+2（前期+1）と上昇、販売単価は±0（前期±0）と横ばいとなっている。

来期の見通しは、生産額は+3と横ばい、収益は+3と改善を予測している。

経営上の問題点では、前期と同様に「人手不足」が一番大きな問題となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第2位	第4位
項目 (回答 6社中)	人手不足	競争の激化	生産能力の不足	原材料高
件数	5	2	2	1

(6) 金属製品

生産額は今期+13（前期+8）と好転、収益も+10（前期+7）と好転となっている。

原材料仕入れ価格は+6（前期+2）と上昇、販売単価は+1（前期+1）と横ばいとなっている。

来期の見通しは、生産額は+6と後退、収益も+5と後退を予測している。

経営上の問題点では、前期と同様に「人手不足」が一番大きな問題点となっている。

経営上の問題点

順位	第1位	第2位	第3位	第4位
項目 (回答 35社中)	人手不足	工場・機械の老朽化	原材料高	生産能力の不足
件数	15	14	12	7

生産額 (単位: 件)

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	3	1	4	3
変らず	3	7	2	3
減少	0	1	0	0
増加-減少	3	0	4	3

収益

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	2	1	2	3
変らず	4	7	3	3
減少	0	1	1	0
増加-減少	2	0	1	3

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	2	1	-	2
変らず	4	8	-	4
下降	0	0	-	0
上昇-下降	2	1	-	2

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	0	0	-	0
変らず	6	9	-	6
下降	0	0	-	0
上昇-下降	0	0	-	0

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。

生産額 (単位: 件)

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	13	9	13	7
変らず	22	17	21	27
減少	0	1	1	1
増加-減少	13	8	12	6

収益

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
増加	10	7	10	5
変らず	25	20	25	30
減少	0	0	0	0
増加-減少	10	7	10	5

原材料仕入価格

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	6	2	-	4
変らず	29	25	-	31
下降	0	0	-	0
上昇-下降	6	2	-	4

販売単価

調査期	今期	前期	前年同期に 比べた動き	見通し
内訳	30/10~12	30/7~9		31/1~3
上昇	1	2	-	1
変らず	34	24	-	34
下降	0	1	-	0
上昇-下降	1	1	-	1

(注) この表の数字は企業の回答数を表す。